

# マナーのツボ

## 3席並びの座席、ひじ掛けは？



新幹線や飛行機などの座席にある「ひじ掛け」。使って良いのか迷ったり、既に見知らぬ隣人に使われて困ったりした経験のある人は多いのではないだろうか。実はルールがあります。例えば窓側ゾーンの3席並びの場合、窓と逆方向にあるひじ掛けを使います。つまり、右手に窓がある場合は、左側のひじ掛けを使い、窓が左側の場合は、右側のひじ掛けを使います。窓側席はひじ掛けを両側使えることになりません。これは窓側席は上座だからです。

次に4席並びの場合は、前方の見渡しやすさに注目します。4席並びの左から2席、右から2席を

## 上座の窓側席、両方使える

分けます。左から2席は左側のひじ掛けを使います。右から2席の場合は右側のひじ掛けです。これは劇場の座席マナーと同じ考え方です。人の体は出したひじと逆、この場合は前方中心にかすかに向くので、全ての席から前方を見やすくする必要があります。

問題は窓がない中央ゾーン3席の真ん中席です。左右を挟まれて圧迫感があり、通路への出入りがしにくい席。できるだけ両側のひじ掛けを使えるよう、通路側に座ったら譲るよう配慮しましょう。座席のリクライニングは後方に配慮するように促すアナウンスもあり、利用者の意識向上を感じています。次は、真ん中席のひじ掛けの配慮です。真ん中席の人に一言「どうぞ」と声をかけるだけで、乗り物を降りた後もずっと気分よく過ごせるはずですから。

(ビジネスマナー講師

美月 あきこ)